

## 2月 定例議会

# 深刻なる財源不足… 緊縮財政の中 県民の安心は？

沢田たか子議員 が代表質問



### 「かだマニフェスト」について

**Q** 知事は今までの滋賀県政史上には無かった「かだ由紀子がめざす政策提案」いわゆる「かだマニフェスト」なる討議資料を公表されています。知事自身は「かだマニフェスト」を検証されるなかで、今後残りの1年半は、どのあたりに重点を置いた県政を考えておられますか、お尋ねします。



**A** 知事 一昨年の11月に「かだマニフェスト」の精神を織り込んだ滋賀県基本構想を取りまとめたところであります。残り1年半、この基本構想にかかげた「未来を拓く共生社会」の実現に向け、特に来年度は「県民の命を守る」「社会で子育てを支え、子どもの生きる力を育む」、また、「琵琶湖の保全と脱温暖化施策」を行い、「滋賀の特性を活かした産業の育成支援施策」の4つの政策に加え、急速に悪化する雇用問題に取り組むため、新たに提案した滋賀県版「ニューディール政策」に重点を置いて県政を進めてまいります。

### 雇用対策について



**Q** 国においては第二次補正予算で、地域における雇用機会創出として、ふるさと雇用再生特別交付金と緊急雇用創出事業臨時特別交付金が成立しましたが、緊急雇用対策のため、どのような事業を考えておられるのか、お伺いします。

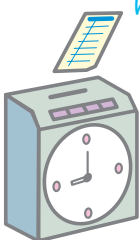
**A** 知事 平成20年度は8校で耐震補強工事を実施しており、うち5校で工事が完了する予定であることから、本年度末の耐震化率は65.4%となる見込みですが、26校で耐震補強工事が未着手となっております。

**Q** 昨年の四大地震において、耐震強度の無い学校教育施設で生徒たちが犠牲者になり、痛ましい非常に大きな被害がありました。滋賀県では、未耐震の県立学校が、未だ多数存在しておりますが、学校施設の耐震化については、公共施設の中でも、子どもたちを対象としていることから、厳しい財政状況の中でもしっかりと予算を確保し、県立学校の耐震化を一刻も早く推進すべきと考えますが、所見を伺います。



### 県立学校の耐震化について

**Q** 現在の雇用危機について、障害のある人々への影響も懸念されるところで、障害のある人が解雇されたり、共同作業所の受注する仕事が減るような影響が出てくることなどが心配されます。障害のある人の雇用、共同作業所などの仕事の確保に向け、新年度予算では、どのように取り組もうとされるのか、知事にお尋ねします。



### 福祉政策について

**Q** 現在の雇用危機について、障害のある人々への影響も懸念されるところで、障害のある人が解雇されたり、共同作業所の受注する仕事が減るような影響が出てくることなどが心配されます。障害のある人の雇用、共同作業所などの仕事の確保に向け、新年度予算では、どのように取り組もうとされるのか、知事にお尋ねします。

**A** 知事 障害のある人の働きたいという思いを支援するため、今年度、湖南圏域に「働き暮らし支援センター」を設置し、すべての福祉圏域で相談支援体制を整えたところであります。

**Q** このたびの経済状況の悪化に伴って、離職者の相談や、時間短縮・配置転換などの相談が増え、平成21年度においても、各センターの雇用支援ワーカーが職場定着や新たな就業に向けて相談支援を行うこととしております。また、今国会で成立した国の補正予算による障害者自立支援対策臨時特別交付金を活用し、就労や訓練の機会が提供できるよう検討したいと考えております。

**A** 共同作業所において仕事が確保できるように、コンサルタントの派遣による新たな商品開発や販路拡大の支援、経営セミナーの開催など営業力の強化も図っているところであります。

